

(四国版)

3D地形点群 モデル解析学ぶ

日測協四国が講習会

日本測量協会四国支部は、3D地形点群モデル解析基礎技術講習会を高

松市内で開いた。25人が受講し、レーザー計測技術や、3D地形点群処理などについて学んだ。写真。

3D地形点群モデルを作成するためのレーザー



計測方法は、地上据え置き型の他に自動車やUAVに搭載するなどさまざま。また、さまざまな方法があるが、それ

ぞれ長所短所があり、目的に合わせて利用する必要がある。また、取得したデータを測量に利用するためには精度管理が不可欠であり、セミナーではまず各種のレーザー計測技術について全体像を整理した。

さらにレーザー計測を使った3D地形点群処理の実習と3D地形モデル作成の実演をした。点群処理に関しては、エラー

データと構造物・樹木と違ったものを除去して地表面など必要なデータを抽出するフィルタリングの作業や、現場が広範囲だったり、死角が生じたときに一度にデータを取り切れずに複数に分けて取得した場合に、基準点に合わせて精度を確保しながらデータを重ね合わせる作業を学んだ。